

平成 24 年度

JA 人づくり研究会・総会

第 14 回研究会 資料

平成 24 年 6 月 15 日
午前 10 時 30 分～

東京・大手町・JA ビル 36 階 大会議室

JA 綱領

わたしたち JA のめざすもの

わたしたちJAの組合員・役職員は、協同組合運動の基本的な定義・価値・原則（自主、自立、参加、民主的運営、公正、連帯等）に基づき行動します。そして、地球的視野に立って環境変化を見通し、組織・事業・経営の革新をはかります。さらに、地域・全国・世界の協同組合の仲間と連携し、より民主的で公正な社会の実現に努めます。

このため、わたしたちは次のことを通じ、農業と地域社会に根ざした組織としての社会的役割を誠実に果たします。

わたしたちは、

- 一、地域の農業を振興し、わが国の食と緑と水を守ろう。
- 一、環境・文化・福祉への貢献を通じて、安心して暮らせる豊かな地域社会を築こう。
- 一、JAへの積極的な参加と連帯によって、協同の成果を実現しよう。
- 一、自主・自立と民主的運営の基本に立ち、JAを健全に経営し信頼を高めよう。
- 一、協同の理念を学び実践を通じて、共に生きがいを追求しよう。

平成 24 年度 JA 人づくり研究会・総会 次第

1. 開会

JA 綱領の唱和。

2. 挨拶

3. 議長選任

4. 議事録署名人・書記

5. 議事

平成 23 年度 活動報告(案)・収支決算。

平成 23 年度監査報告。

平成 23 年度 活動報告(案)・収支決算。

平成 24 年度 活動計画(案)・収支予算(案)。

4. 閉会

平成 23 年度 活動報告(案)

1. 研究会の開催

会員からの要望および、JAにおける課題を考慮し、以下の研究会を開催した。

第 11 回 女性の力を JA の活力の源泉に (23 年 8/19)

第 12 回 風評被害の克服に向けて (23 年 12/8)

第 13 回 JA に必要不可欠な『人づくり』をどう進めるか (24 年 2/29)

2. ホームページを通じた情報発信

ホームページを順次更新し、研究会の活動報告を掲載した。

また、掲示板の設置、会員 JA リンク集の作成を行った。

会員 JA 一覧 (33JA。このほか 11 の個人会員・中央会・連合会会員)

JA 中札内村、JA いわて中央、JA いわて花巻、JA 仙台、JA いしのまき、JA はが野、JA ふかや、JA 富里市、JA いちかわ、JA あつぎ、JA はだの、JA 横浜、JA 東京むさし、JA 塩尻市、JA 松本ハイランド、JA 新潟市、JA 魚沼みなみ、JA ぎふ、JA ひだ、JA みっかび、JA なんすん、JA あいち知多、JA 松阪、JA グリーン近江、JA いずも、JA えひめ南、JA 徳島市、JA ふくおか八女、JA 筑紫、JA 福岡市、JA しみず、JA あしきた、JA おきなわ

(ホームページ アドレス <http://www.ja-hitodukuriken.jp/about/index.html>)

3. JA 人づくり通信の発行

毎回の研究会の内容を要約した「JA 人づくり通信」を発行し、会員への情報提供を行った。(順次ホームページに掲載中)

4. 役員の現状

代 表 (東京大学名誉教授) 今村 奈良臣

副代表 JA いわて花巻 専務理事 高橋 勉

JA 東京むさし 常務理事 麻生 昭夫

JA 富里市 前常務理事 仲野 隆三

JA-IT 研究会 副代表 黒澤 賢治

監 事 JA はがの 理事 杉山 忠雄

JA はだの 組合長 古谷 茂男

平成 23 年度 収支決算

(2011 年 4 月 1 日～2012 年 3 月 31 日)

収入

(単位：円)

勘定科目	予算額	決算額	摘要
会費	200,000	190,000	
研究会参加費	2,400,000	1,545,000	
雑収入		173	利息
前年度繰越金	794,316	794,316	
合計	3,394,316	2,529,489	

支出

(単位：円)

勘定科目	予算額	決算額	(単位：円)
研究会費	2,250,000	1,673,084	
事務費	240,000	134,610	
役員会費	600,000	197,038	
予備費	304,316	0	
合計	3,394,316	2,004,732	

平成 23 年度差引残高 (次期繰越)

収入 2,529,489

支出 2,004,732

差引残高 524,757

監査報告 JA 人づくり研究会活動報告、収支決算書は、適正に作成されているものと認める。

2012 年 5 月 10 日

監事 杉山 忠雄

監事 古谷 茂男

平成 24 年度 活動計画 (案)

1. 研究会の開催

会員からの要望および、JAにおける課題を考慮し、年3回程度の研究会を開催する。

第14回研究会 平成24年6月15日

第15回研究会 平成24年11月下旬または12月上旬

第16回研究会 平成25年2月中旬または3月上旬

2. ホームページを通じた情報発信

ホームページを開設し、研究会の活動報告を行う。

また、会員間の情報交換・交流を行うため、「掲示場」を設置し、情報交換、課題解決のヒントを得たりできるようにする。(なお、投稿字数は2000文字まで)。

3. JA人づくり通信の発行

毎回の研究会の内容を要約した「JA人づくり通信」を発行し、会員への情報提供を行う。

4. その他、本研究会の目的を達成するために必要な活動を行う。

平成 24 年度 収支予算(案)

収入

(単位：円)

勘定科目	予算額	摘要
会費	200,000	@20,000円*10人(会費は入会時のみ徴収する)
研究会参加費	2,400,000	研究会3回@20,000円*40人*3回
雑収入		
前年度繰越金	524,757	
合計	3,124,757	

支出

(単位：円)

勘定科目	予算額	摘要
研究会費	2,250,000	研究会講師謝金・旅費@100,000円*4人*3回 会場費@350,000円*3回
事務費	240,000	@20,000*12ヶ月 ホームページ更新費用
役員会費	600,000	企画会議(三役)旅費等@20万円*3回
予備費	34,757	
合計	3,124,757	

JA 人づくり研究会の軌跡

JA人づくり研究会は、平成20年7月の「第1回JA人づくり研究会」から、これまで13回の研究会を開催してきた。

講演・実践報告テーマ一覧

第1回 平成20年 7月	①組織リーダー育成とナレッジマネジメントを通じた学び合う職場づくり	日本ナレッジマネジメント学会 理事長 森田松太郎 氏
	②我が養豚経営の自立の歩みと後継者育成	宮崎・JA尾鈴 前養豚部会長 遠藤威宣氏
	③地域NO.1JAづくりと組合員主役のJA運営、組合員教育活動	神奈川・JAはだの専務理事古谷茂男 氏
	④働きがいと専門能力を磨く複線型人事とCDPの運用	兵庫・JA兵庫六甲常務理事 前田憲成 氏
第2回 平成20年 11月	①人材を育てる仕事づくり・職場づくり	全国農協食品株式会社代表取締役社長 宮垣和正 氏
	②地域協同組合をめざすJAいずもの組織機構改革の狙いと課題	島根・JAいずも 代表理事専務 内田正二 氏
	③JA東京むさしの経営理念と人材育成戦略	東京・JA東京むさし 常務理事 麻生昭夫 氏
第3回 平成21年 2月	①JA田子町における組合運営と組合員の意識改革	青森・JA田子町 代表理事専務 佐野房 氏
	②集落営農組織としての百世の組織化・運営とJAの役割と支援体制	福岡・JAふくおか八女 農畜産課長 下川茂利 氏
	③主体的・自主的な支所運営と組合員組織活動支援、職員育成の取り組み	福岡・JA福岡市 常務理事 青柳博 氏
	④JAあづみの組合員組織活動の活性化への取り組み	長野・JAあづみ 総務開発事業部福祉課 池田陽子 氏
第4回 平成21年 5月	①JA甘楽富岡における組合員教育と参画型事業・運営の仕組みづくり	JA-IT研究会副代表 黒澤賢治 氏
	②JAいわて中央における組合員主役の集落営農と農家組合の組織化と支援対策	JAいわて中央代表理事専務 熊谷健一 氏
	③みやぎ生協のメンバー(組合員)参加型の組織・事業運営	みやぎ生協 生活文化部長 小澤義春 氏
第1回全 国公開研 究会 平成21年 8月	①地域における仕事興しと多様な人たちとの連携	長野・(株)田切農産代表取締役 紫芝勉 氏
	②仲間たちとの農業経営自立の歩みとJAへの期待	滋賀・(有)共同ファーム社長 今井敏 氏
	③JAいわて花巻における地域を支える女性組合委員の協同活動	岩手・ハヤチネフーズ(株) 参与 高橋テツ 氏
	④組合員が主役の協同組合運営	福井県民生活協同組合 組織ネットワーク本部 執行役員 統括部長 久島雅夫 氏
	⑤総合JAとしての支店を核とした分権型マネージメント組織づくりの歩み	福岡・JA福岡市 常務理事 青柳博 氏

第6回 平成21年 12月	①JAの総合力を発揮した農業経営支援への取り組み	JA全中 農業経営管理支援室 上級専門職 岩村洋 氏
	②総合ポイント制の展開とJAの果たすべき役割	長野・JA松本ハイランド 組合長 伊藤茂 氏
	③JAの総合性を発揮するための職場づくりと人材育成	福岡・JA糸島 組合長 松尾照和 氏
	④大規模法人としてJAに望むこと	富山・サカタニ農産 代表理事 奥村一則 氏
第7回 平成21年 3月	①JA伊達みらいにおける産地づくりと組織づくり	福島・JA伊達みらい 常務理事 斉藤一郎 氏
	②ハトムギによる産地形成とJA主導の農商工連携	富山・JA氷見市 組合長 川上修 氏
	③女男共同参画によるJAの助けあい活動と仕事興し	高知・JAコスモス 福祉生活部 中村都子 氏
	④パルシステムの考える仕事興し	パルシステム生活協同組合連合会 セカンドリーグ支援室 吉村一正 氏
	⑤地域興しとJAの役割に向けたいくつかの提言	宇都宮大学 農学部長 守友裕一 氏
第8回 平成22年 7月	①地域を基盤とする日本型農場制農業の創造	石川・株式会社六星 会長 北村歩 氏
	②星野村のムラ興しの視点と実践	福岡・JAふくおか八女 前副組合長 末崎照男 氏
	③メディコ・ポリス構想と農村医科大学への実践課題	佐久総合病院 色平哲郎 氏
	④農業の新人革命	JA総合研究所 客員研究員 和泉真理 氏
	⑤中山間地域におけるコミュニティビジネスの創造	明治大学 教授 小田切徳美 氏
第9回 平成22年 10月	①農畜産物直販ネットワークの構築とJAの取り組み	熊本・JAあしきた 総合直販部部长 木山優蔵 氏
	②組合員リーダー育成と地域農業の復権への取り組み	長野・信州きのこマイスター協会理事長 (前JA中野市常務) 前澤憲雄 氏
	③ブランド確立のためのトップセールスと職員育成の取り組み	北海道・JA中札内 組合長 山本勝博 氏
	④地域興しに欠かせない女性パワーの活用とその方法	広島・広島世羅高原6次産業ネットワーク コーディネーター 後由美子 氏
第10回 平成23年 2月	①大型合併JAの運営は組織力の強化から	岩手・JAいわて花巻 専務 高橋勉 氏
	②学習活動をベースにした組合員参加型共育・研修活動の実践	JA-IT研究会 副代表 黒澤賢治 氏
	③”地域と組合員”求められる人材	千葉・JA富里市 常務 仲野隆三 氏
	④JA教育活動の課題と「新たな協同を担う人づくり全国運動」の5つの柱	JA全中 教育企画課 課長 田村政司 氏

第11回 平成23年 8月	パネルディスカッション「女性の力で地域に風を」	コーディネーター JC 総研 客員研究員 和泉真理 パネリスト JA 八戸・監事 佐野房 JA あづみ 池田陽子 JA いわて花巻・理事 高橋テツ JA コスモス 中村都子
第12回 平成23年 12月	問題提起「無知の不安」と「未知の不安」をいかに「既知の安心」に変えるか	JA人づくり研究会 代表 今村奈良臣
	JA富里市における放射能測定への対応と風評被害の克服	JA富里市 常務 仲野隆三
	風評被害にみずほ市場はいかに対処したか	株式会社 農業法人みずほ 代表取締役社長 長谷川 久夫 同 生産研究部長 高橋 広樹
	東電福島原発事故による農畜産物の汚染とJA新ふくしまの対応	JA新ふくしま 代表理事専務 菅野 孝志
	パルシステムにおける福島原発事故汚染への対応	パルシステム生協連合会理事長 山本 伸司
	放送現場から見た JA の震災対応と風評被害対策の課題	ラジオ福島・リポーター 川又 啓蔵 (JAそうま総代 茨城大学修士課程在学中)
第13回 平成24年 2月	JAみっかびにおける産地形成と人材育成の展望」	JAみっかび 専務 後藤 善一
	JA東京むさしの経営理念と人材育成の現状」	JA東京むさし 常務 麻生 昭夫
	JA梨北の事業改革と地域づくり・人材育成の現状」	JA梨北 常務 仲澤 秀美
	JAみなみ信州における支所長責任制による地域活性化」	JAみなみ信州 組合長 矢澤 輝海

JA人づくり研究会 平成24年度総会・第14回研究会 開催要領

1. 開催日

平成24年6月15日（金）午前10時半～午後5時半

2. 開催場所

東京都千代田区大手町1-3-1 JAビル 36階 大会議室

3. 今回の研究テーマ

「コーディネート機能の必要性とそのため『人づくり』をどう進めるか」

第13回研究会では、農業生産を主軸とした組合員の営農と生活を守るJAとして、「地域づくり」プロデューサー的、「組合員組織活動」コーディネーター的な役割を果たせる人材の「発見」と「育成」について事例発表を行った。

JAは、総合事業を行っており、とりわけ農畜産物の集荷・供給をするために、組合員をはじめ供給先との調整など生産・出荷、販売にいたる幅広いコーディネート機能の発揮が必要となる。

今回は、JAおきなわおよび北海道・十勝地方における事例から学ぶとともに、参加者相互の意見交換を時間をとって行うこととしたい。

4. 参加対象

JA・連合会・中央会の常勤役員。

なお、JA・連合会・中央会の職員はオブザーバーとして参加できる。

（誠に恐縮ですが、会場の都合により定員70名とさせていただきます。定員をオーバーした場合は、常勤役員の方のご参加を優先させていただきますので、あらかじめご了承ください）。

5. 参加費

参加費は会員1万5千円、会員外2万円とする（宿泊は各自でご手配ください）。なお、1団体で複数参加する場合（オブザーバーも含む）は、2人目から1万円とする。

参加費については「第14回研究会参加費」と明記し、下記口座に6月8日までに振り込んでください。

振込口座： 農林中央金庫 本店 普通預金

口座番号： 5542760 JA人づくり研究会

第14回JA人づくり研究会 プログラム

場所：東京都千代田区大手町1-3-1 JAビル 36階 大会議室

「コーディネート機能の必要性とそのための『人づくり』をどう進めるか」

6月15日(金)

10:00 受付

10:30 平成24年度総会

11:00 問題提起

「コーディネート機能の必要性とそのための『人づくり』をどう進めるか」

11:15 「JAおきなわにおける事業展開と人づくりについて」

JAおきなわ 常務理事 普天間 朝重 氏

12:30 昼食・休憩

13:30 「十勝におけるブランド戦略とネットワークづくり」

—そのための人材育成の現状—

十勝農業協同組合連合会 電算事業部長 高橋 敏 氏

14:45 休憩

15:10 相互討議・意見交換

17:20 まとめ

17:45 懇親会 大手町1-8-1 KDDIビル 2階 つきじ・植むら